

第2回 園芸高等学校協議会（記録まとめ）

平成26年10月31日（金）

13:30～

司会 教頭 書記 白井

1 開 会

委員長あいさつ

学校長あいさつ

2 授業見学（5限目）

3 協 議（委員長）

（1）授業見学を終えて

【意見・感想など】

- ・授業は静かに受けている。特に実習では前向きに取り組んでいた。
- ・中学校でも体を使って取り組む授業などがあってもいいのではないかと感じた。
- ・丁寧に授業をされていた。数学では少人数で授業展開をしているので、個人の反応を見て授業ができていた。
- ・実習では笑顔があり、何かに集中して取り組むのでキレやすい生徒は少ないのではないと思う。また、緑が多く精神的にも安定しているのではないか。

【質問】

Q 進学をめざすための少人数展開の授業はどのように対応しているのか。

A 進学のための少人数展開として少人数展開の授業はしていないが、SSH コースでは英語、理科の授業で進学に向けて取り組んでいる。

（2）本年度の取り組みの進捗状況について

【学校長より報告】

学校経営計画をもとに進捗状況を説明

【主な意見・感想など】

- ・和歌山県の古座という学校で英語教育について、全員の生徒が英検 3 級を受験する指導をしていて、受験率では非常に高い数値であったと聞いている。目標は 3 級だが、2 級や 1 級にも合格者出している。
- ・学習する環境や雰囲気もあるのではないか。業者の学習方法でもあるが、英語を流すことなどはどうか。
- ・池田市では小学校低学年から ALT を導入し、英語に力入れている。
- ・記念祭で日頃の研究成果の発表会を実施している。

【質問】

Q 今年度の取組内容で学習到達度の向上とあるが、どのレベルをめざしているのか？

A 学習到達度の目標に達しているのは 100%である。

非常に幅の広い生徒が本校に入学している。例えば大学の研修室に入った場合にプレゼンテーション能力のアップも必要であると考えている。

大学はグローバル化と言っており、高校でも同じ状況である。

(3) 学習面、授業評価、学校教育自己診断

【学校教育自己診断について資料をもとに説明・報告】

基本的には経年変化をみるために今年度も昨年度と同様の項目で実施する予定である。一部修正をして実施する予定である。

【主な意見・感想など】

- ・ 次回の協議会では自己診断の結果を経年変化で出して欲しい。

【SSH 関係について】

今後の予定（記念祭・中間報告会・総合研究発表会）について説明。

今年度は 5 年の事業で中間報告をまとめる年で様々なことに取り組んでいる。

【授業アンケートの結果】

- ・ 授業アンケートを 7 月に実施、結果を報告。
- ・ 結果は、昨年度と同様の傾向がある。全体的には良い結果であった。特に実業系の科目については良い結果が出ている。

【主な意見・感想など】

- ・ 特に基礎学力で良い結果が出ているのは面白い。
- ・ 基礎学力では 7 時間目に設定しており、業者からもモデルとして取材を受けるほどである

(4) その他

【広報活動について】

平成 28 年の選抜方法の変更に伴い志願者減が懸念される。広報活動について方法についてアドバイスが欲しい。

【主な意見】

- ・ 生産物を中学校に持って行かせるなどはどうか。
- ・ 中学校の先生が園芸高校に理解をしてもらえれば、目的意識をしっかり持った生徒が入学するのではないか。

4 次回協議会について

第1案 2月28日（土）午前10時～

5 閉 会

委員長あいさつ